

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」小倉到津校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日 ～ 2024年 12月 18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名 (30家庭)	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 2日 ～ 2025年 12月 14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントが豊富であること。	・子どもたちの個性を引き出し、成長を楽しむ多彩なイベントを年間を通じて開催しています。 季節ごとの行事や体験学習を通じて、社会性や自立心を養う場を提供しています。	・毎月異なるテーマを設け、子どもたちの興味を広げるイベントを企画します。 ・地元の施設や企業と協力し、地域文化や職業体験を取り入れた特別イベントを開催します。 ・子どもたちと保護者が一緒に楽しめるレクリエーションイベントやワークショップを実施します。
2	家族支援の機会を設けることを意識していること。	・ご家族との密な連携を大切にし、保護者様参加のワークショップや面談を定期的に行っています。 ・家庭と事業所が一体となった支援で、子どもたちの成長を力強くサポートします。	・家庭での困りごとや支援方法について、定期的に1対1で面談を行う時間を設けます。 ・同じ悩みを持つ保護者同士が交流できる場を提供します。 ・日々の活動報告やアドバイスをLINE等で発信し、家庭との連携を強化します。
3	地域との連携を大切にしていること。	・近隣店舗へ協力いただきイベントの開催を行い、地域社会の中で子どもたちが活躍できる機会を創出します。 ・地域資源を活用した支援で、よりよい視野と社会性を育みます。	・地域のお祭りや清掃活動に子どもたちとともに参加し、社会とのつながりを深めます。 ・施設や地域団体と協力し、子どもたちが小さな社会貢献を体験できる場を検討します。 ・公共施設、近隣店舗などを訪問するプログラムを定期的に取り入れます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動等のスペースが広くないこと。	・施設の立地や建物の構造上、広いスペースを確保することが難しいです。 ・利用者数の増加に伴い、既存のスペースが手狭になっています。	・地域の公園や公共施設の利用拡大や時間割の工夫でスペース不足を補います。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会がないこと。	・地域の情報不足や時間的な制約により、外部との交流の計画が立てにくいです。 ・障害のある子どもとない子どもと一緒に活動する意義や方法について、関係者間の理解が進んでいません。	・他施設との連携窓口を設置し、共生社会の実現に向けた活動を推進します。
3	学年差が広がる中で、全ての年齢の児童が満足できるイベントの実施が難しいこと	・低学年と高学年で興味関心や発達段階に差があり、同一内容の活動では満足度に差が生じやすい。 ・イベント内容が一部の学年に偏りやすく、個々のニーズに十分対応できていない。	・学年や発達段階に応じた複数の活動内容を用意し、選択できる形でのイベント実施を検討する。 ・事前に児童の意見や希望を取り入れ、より満足度の高い活動内容となるよう工夫する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小倉到津校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 2025年12月18日 34名 (30家庭)

回収数 21家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	6	0	1	・もう少し広いと嬉しい。 ・活動中に見に行くことがないため「わからない」とした。	法令を遵守したスペースを確保しており、お子様が安全に活動できるスペースの確保に努めています。ご不便をおかけしているところもあるかもしれませんが、今後も活動に応じたスペース確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2	0	2		児童の人数や活動内容に応じて、適切な職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	2		建物の構造上、すべての障害特性に対応したバリアフリー化には至っていませんが、現在利用している児童に対しては、わかりやすい構造化や情報伝達への配慮を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1	0	1		空気清浄機の使用や定期的な消毒を行い、清潔で心地よく過ごせる環境を整えるとともに、活動内容に応じた空間づくりを行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	1		こどもの特性を理解したうえで、経験年数の長い職員や専門的支援を担う職員、外部の専門職の意見も取り入れながら支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	2	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	2	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2	0	2		定期的なモニタリングを通して支援内容を振り返り、こどもの様子や状況に合わせて活動プログラムを柔軟に変更しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	9	1	6	必要性は全く感じない。	きらりで提供する支援・療育の性質上、きらりを利用されていない児童と交流する機会を設けておりません。ご了承ください。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	2	0		見学や契約の際に、「放課後等デイサービス計画」をもとに支援内容の説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	0	2		保護者向けの研修や情報提供について、事業所内での掲示や、ブログ・SNSを通して案内しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	3	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	5	0	2		毎年11月23日（祝）に保護者参加のワークショップを開催しています。ごきょうだいの方も参加可能です。来年度以降もご希望のご家庭はぜひ参加していただければと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	0	1		ブログやSNS等を通して、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を、定期的に発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2	0	4		各種マニュアルを整備し、保護者へ周知・説明を行うとともに、毎月さまざまな訓練を実施しています。訓練は曜日を固定せず、すべての児童・職員が参加できるよう工夫しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2	0	3		防災備品の確保、毎月避難訓練・防犯訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	1		子どもの安全を確保するための計画について周知を行い、安全に配慮したうえで支援を実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	2		事故等が発生した際には、速やかに保護者へ連絡し、状況について丁寧に説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	4	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1	0	0	・長年利用させてもらっています。とても安心できる場所です。先生方もとても優しく、とても親切です。相談しやすく、適切なアドバイスをくれます。きりりさんのおかげで母子共にかんばれています。 ・親子とも、とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」小倉到津校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しておりますが、利用児が多い日もあるため、学習スペース、遊ぶスペースなどの構造化を行っています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法定の人員に加え、2名の指導員を加配し、利用児の多い曜日には非常勤職員の増員も行っています。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		パーティションなどを使用して、学習スペースと遊ぶスペースなどの構造化を行っています。	車いすも利用できるようにフラットな活動スペースを設けていますが、手すりの設置やバリアフリー化したトイレの設置が行えていません。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に消毒を行っています。また、食事の際は、別途テーブルを用意して勉強用と食事用に分ける仕様になっています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			個別の部屋は用意していますが、防寒や暑さ対策などが不十分のため、機械の設置が必要です。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に話し合いの機会を設け、より良い支援を検討しています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度、保護者アンケートを実施し改善に繋げています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に管理者と1on1を実施し、意見を聞く機会を設け、改善に繋げています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に事業所外の者から内部監査を受けています。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		（財）発達支援研究所へ研修を依頼し、年間研修計画のもとで、支援に関する職員研修を行っています。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	個別支援計画に基づいて支援のプログラムを職員間で相談しながら作成しています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		フェイスシート、アセスメントシートの活用や情報共有の機会を通してニーズや課題の検討を常に行っています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を開催し、事業所職員で検討を重ね個別支援計画を作成しています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援前に個別支援計画を見直し、その日の支援プログラムを作成しています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントツールを使用しています。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は、5領域の視点から支援項目を設定しています。 「家族支援」「移行支援」は、日頃のお子様やご家族様の状況を把握することや困り感を共有して頂く中で様々な視点から分析し、関係機関と共有できるように努めています。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		利用児にとっての課題や支援の方向性等を話し合う支援会議を開いています。					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		少なくとも6か月に一度は個別支援計画の振り返りを行い、利用児に合わせたプログラムとなるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者の希望に沿いながら、個別と集団を組み合わせた支援を提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		就業開始時に適宜ミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の様子や変わったこと、周知しなければならないことの情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6か月に一度モニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った活動を提供しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別支援計画の支援目標に沿った支援内容を準備し、その中から利用児に課題を選んでもらうことで自己決定する力を育む機会を提供しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者か担当児童指導員が参加できるよう調整しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に学校の先生や相談支援専門員と利用児について情報共有の機会を設けています。	保健、医療の関係機関連携が行えていないため、今後必要に応じて機会を設けます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校や保護者から年間計画や行事予定表を頂いているため、情報共有や連絡調整など行うことが出来ています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			関係機関との連携を図るよう心掛けています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		該当の利用児はいませんが、今後そのような状況であれば積極的な情報提供に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		関係機関との連携を図るよう心掛けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		支援の特質上、そのような機会は積極的に設けておりません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		北九州市自立支援協議会にはこども部会がないために参加していません。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から送迎時や連絡帳などで保護者と情報交換を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		定期的な保護者との面談の中で、お困りごとや相談があった際に必要な助言を行っています。しかしながら積極的に活動しているというには不十分であるため、今後保護者からのニーズに沿いながら検討していきたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書面と口頭で説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時やモニタリング時に、保護者の方へ要望を伺っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時に書面と口頭で説明を行っています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		行っています。また、より相談しやすい環境づくりを目指す一環として、家族支援・子育てサポートの体制を整えています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		年に1回の保護者会またはワークショップを実施しております。きょうだいの参加も受け入れており、今後もより良い保護者同士の交流の場がご提供できるように努めてまいります。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口、担当者を設置し、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所の公式LINEを使用して活動の様子を保護者発信しています。また、月に2回更新するHPのブログでも情報を発信しています、	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのキャビネットに個人情報を保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭のみでなく書面やLINEにて連絡できる体制を整えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民の招待等は行っておりません。児童それぞれの療育プログラムに沿い可能な範囲で検討しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成しており、訓練を定期的に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定しており、毎月1回火災や地震等の避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様に調査票を提出していただき、熱性けいれんなど子どもの持病を共有理解できるように努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメント時にアレルギーについて慎重に聴取し、徹底しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		ヒヤリハットや事故報告書を作成し回覧で共有、研修なども実施し事故防止に努めています。また、安全計画の作成も行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ヒヤリハットや事故などは必ず保護者に報告して話し合いながら、ヒヤリにつながった原因を考え、保護者や職員間で共有しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告書を作成し、終礼等で共有し、職員間で原因や未然に防ぐ方法について話し合う場を設けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		入社時研修、毎月の虐待防止・身体拘束廃止委員会研修、行政の研修で虐待防止に関する意識向上を図っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しています。	